



Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	尾形 和夫	第2800地区ガバナー	新関 彌一郎
長井ロータリークラブ幹事	遠藤 伴明	第6ブロックガバナー補佐	横澤 寿彦
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	会報委員	長澤修司・齋藤圭央・小野浩二

URL: <http://www.nagai-rc.jp>E-mail: [info@nagai-rc.jp](mailto:info@nagai-rc.jp)

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か 3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成26年6月17日(火曜日) 第2,571回

【月間テーマ】 ロータリー親睦活動月間 &lt;例会報告 NO.43&gt; 前田会長エレクト所信表明・臨時総会

## ☆会長挨拶(尾形 和夫)



皆さん、こんにちは

はじめに、皆さんに報告しておかなければならないことがあります。福田会員が今月限りで退会されることになりました。何度も慰留に努めたものの、本人の意志もかたく、退会ということになりましたので、報告します。

話は変わりますが、ことばの伝え方次第で、相手の行動は変えられます。

伝え方は人生を大きく変える力を持っています。テレビ番組の「学べるニュース」でおなじみの池上彰さんは、分かりやすい解説者として、視聴者から大変好評を得ているそうです。

今日は、池上流「伝える技術」の三つのポイントについて、お話しします。

① 聞き手に「話の地図をしめす」ことです。

最初に話の全体像の内容を要約して話すことで、聞き手は何の話かすぐに理解できるし、心の準備もできます。また、話す側にとっても、要約文を書こうとすることで話の内容がまとまる効果があるということです。

② 話す内容を「見える化」することです。

話すべき点を箇条書きにすることで、思考を整理することができます。

③ 話の柱と枝をつくることです。

話したい要素ごとに複数の柱を立て、そこから枝分かれさせていきます。

以上が、三つのポイントとなりますが、「伝える技術」の達人である池上彰さんも、「多くの失敗を繰り返しつつ、学んできた」と言います。そして、なによりも大切なのは、「謙虚であること」。それが、「伝える力を身につける第一歩」だと語っております。

謙虚さとは、いつの世にも大切なことであり、いかなる商売、人とのつきあいの中でも必要不可欠なことだと常に思っているところです。前述した内容を心に秘め、これからもロータリークラブの一員として、また、会社の一員として、常に謙虚でありたいと、思っております。

今日は、前田会長エレクトによります所信表明と、臨時総会を予定しておりますので、宜しくお願いします。以上で、会長挨拶といたします。

## ☆幹事報告

ありません

## ☆委員会報告

- ・新プログラム委員会より  
7月のプログラムについて
- ・米山奨学会より  
ハイライト米山について  
外国人による日本語弁論大会について
- ・青年会議所(JC)より  
夢灯りのご協賛の感謝の言葉

## ☆今後の例会予定

6月

24日 最終例会

ゴルフコンペ・懇親会

7月

- 1日 新年度船出乾杯  
活動計画発表 part 1
- 8日 活動計画発表 part 2  
渡部 PG ミニ講座

**15日 ガバナー公式訪問**  
**会長幹事会 11:00～**  
**例会 12:15～**

- 22日 ゲスト卓話  
赤間歯科医院 赤間寛 氏
- 29日 ビアパーティー  
伝統芸能「琴の夕べ」

### ☆前田会長エレクト所信表明

ロータリー歴 H16年5月から職業奉仕、社会奉仕、常任委員長を歴任しました。

今回お話をしようといろいろと考えたのですが、言葉が出てきませんでした。それはなぜか・・・行動と知識がともなっていなかったのではないかなと思う。

奉仕の理念を行動では行ったが言葉が出ない。本当に会長としての資格があるのか悩みました。

次年度の会長としての自分ができることは、先頭に立ってロータリーを勉強し、仕事の中で心に刻んで全うすることだと思いました。

ロータリーデー

- ・自由に決めてもよい
- ・参加型のイベントがよい

地区大会時にもロータリーデーを開催予定

- ・ゲストを呼ぶ ・ロータリーの専門用語を使わない
- ・イベント型の奉仕プロジェクトを開催
- ・メディアを利用してください → ロータリーデーはロータリーの広報となります。(ロータリーは、どんなこと、だれと、どんな家族がいるのか、ロータリーに入っていたきたい人の参加など)

前田会長エレクトが次年度実施していきたいこと

- ・ロータリーの話も多く取り入れる
- ・青少年プログラム→長井3名実施している
- ・ロータリーの勉強をし直す
- ・会員卓話を多く企画している (最近の気になることなど)
- ・会報について  
内容を確認しつつ  
施設などへの配布  
HPに掲載
- ・定款の変更 (この後の臨時総会に詳しく説明)  
メーク料を1500円から1000円へ
- ・部屋の棚  
来られない方の棚がいっぱいたまっている  
1か月ごとにその資料を手渡しする

これから1年ロータリーのために心血を注いでいきたいと思っております。

### ☆臨時総会

内容は別紙の2014-2015クラブ定款についてをご覧ください

### <号外> 前会員の赤間氏がドイツから功労勲章を受章しました! (以下 山形新聞より抜粋)

長井市館町南の歯科医で長井パートゼッキンゲンクラブ名誉会長の赤間寛さん(84)が、35年以上にわたり日本とドイツの国際交流に貢献したとしてドイツの功労勲章を受章した。19日、同国駐日大使主催の授与式が同市のTASビルで行われ、赤間さんは「100年先も友好関係が続くよう今後も活動にまい進したい」と喜びを語った。

赤間さんは、市水泳連盟会長を務めていた1977(昭和52)年に日独スポーツ少年団同時交流事業でドイツの子どもたちを招いたのを皮切りに、長井スキー連盟の遠征、青少年欧州研修などを通じてドイツ・パートゼッキンゲン市との交流促進に尽力。83年に同市と長井市が姉妹都市盟約を結ぶ橋渡し役となった。

交流推進組織の長井パートゼッキンゲンクラブの初代会長を務め、長井と欧州5都市による環境フォーラム、オペラ「ゼッキンゲンのトラパンペット吹き」日本初演の実現などにも貢献した。これらの功績が認められ、ドイツ功労勲章の一つ「功労メダル」が贈られることになった。

式典には関係者が大勢出席し、ハンス・カール・フォン・ベアテルン駐日大使から赤間さんに功労メダルが手渡された。赤間さんは「携わった全ての人を代表し頂いたもの」と感謝し「若い世代が生き方や、自然と調和したまちづくりなどを学び合える交流関係を築いていきたい」と抱負を語った。



<早退届>

・瀬尾雅広 会員

<ニコニコBOX>

・前田昌信 会員

所信を聞いていただきます

・瀬尾雅広 会員

所信を開けなくてすみません。

・伊藤克也 会員

会長、幹事、事務局へ 宮城・福島の視察旅行の手配実施  
お疲れ様でした。

・福田和子 会員

10年間大変お世話になりました。ありがとうございました。